



平成 22 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 西 松 建 設 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 近 藤 晴 貞
(コード番号 1820 東証第一部)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年度を初年度とする中期経営計画『Nishimatsu「Re - Birth Plan 2009」(2009～2011 年度)』をスタートさせ、信用回復に向けての「経営基盤の再構築」ならびに「収益力強化」を最重要経営課題として取り組んでまいりました。

「経営基盤の再構築」につきましては、取り組み諸施策を確実に実行し、今後モニタリングを通して継続的改善を図ってまいり所存です。

一方「収益力強化」に向けた取り組み施策につきましては、一定の効果はあったものの、当期の業績見込みならびに建設市場の想定以上の縮小等、厳しい経営環境を踏まえ、受注計画、組織体制の見直しを含め、さらなる改革が必要と判断し、中期経営計画の見直しを行いました。

お客さまや地域のみなさまから高い信頼を得られる企業を目指すとともに安定的な利益を生み出す企業を目指して来年度以降の計画達成に向けて全社をあげて邁進していく所存です。

以 上

【問合せ先】

西 松 建 設 株 式 会 社

広報部・経営企画部 03-3502-0232

(注)業績見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって記載の見通しとは異なる可能性があります。

修正中期経営計画

Nishimatsu Re-Birth Plan 2009

2010年3月19日



西松建設

目次

中期経営計画の検証 … 1

中期経営計画見直しの背景 … 3

目指す企業像 … 4

基本方針の見直し … 5

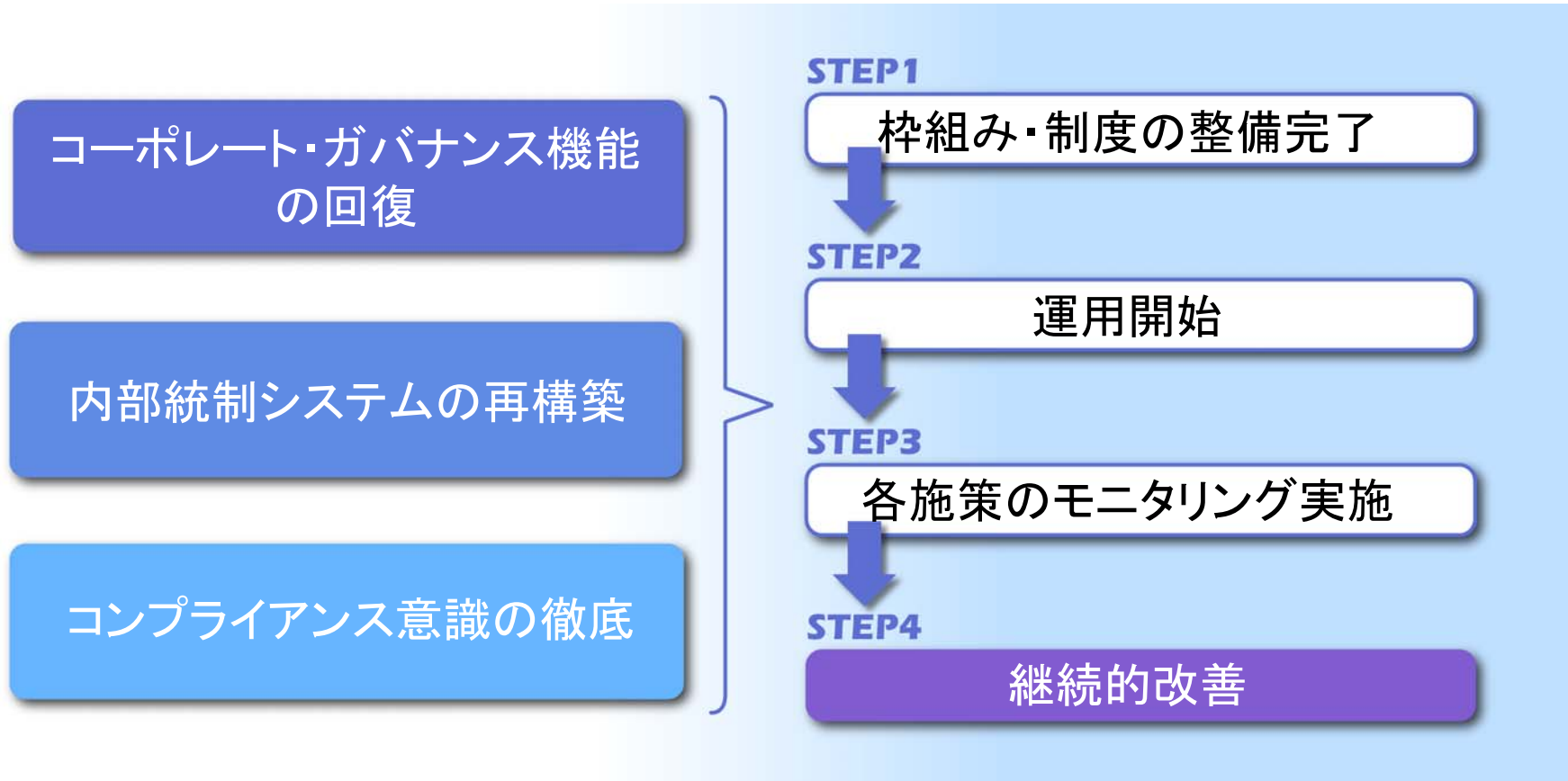
基本方針の戦略 … 6

計画数値(単体)の見直し … 9



中期経営計画の検証

経営基盤の再構築 取り組み施策



取り組み内容の詳細は、当社ホームページの「信頼回復への取組み」をご覧ください。



中期経営計画の検証

収益力強化 取り組み施策

- 収益力重視の受注体制の確立
- 経営組織の改革
- 経営の効率化



取り組みに一定の成果はあったものの、計画初年度は下記に示す特殊要因と想定以上の急激な環境変化により大幅な赤字決算となる見通し

当期減益要因

1. 売上利益の悪化

- 過去に受注した海外工事の採算悪化
- 販売用不動産評価損の発生等

2. 一般管理費の増加

- 貸倒引当金繰入額の増加
- コンプライアンス体制強化費用の増加

3. 追加損失の発生

- デベロッパー関連損失発生
- 保有不動産の減損損失発生
- 事業再構築関連費用の計上

4. 繰延税金資産取崩等



中期経営計画見直しの背景

外的要因

- 公共投資の削減
- 民間設備投資の抑制

内的要因

- 社会的信頼回復の取り組み継続
- 今年度赤字決算 ⇒ 負の遺産を清算
- 事業規模と組織体制のミスマッチ

見直しのポイント

CSR活動の推進

受注計画修正

組織体制の再構築

営業利益確保

修正中期経営計画のもと、新生西松を再スタート

国内受注高(単体)・シェア率の推移



資料(財)建設経済研究所「建設投資の見込み」(2010.1)
(当社受注高;2009年度は見込み、2010年度は計画値)



目指す企業像

「風土」 高い技術力と
実直な社風

「現場力」 職員の力を結集
させた「現場力」

「人材」 個性と才能あふれる
豊富な人材

「組織」 骨太な組織体制の確立

「品質」 技術に裏付けされた
高い品質

「資力」 安定した財務基盤の確立

新生西松が目指す企業像

顧客・地域から高い
信頼を得られる企業

安定的な利益
を生み出す企業



基本方針の見直し

基本方針

①CSR活動の推進

②収益力・受注力の強化

⇒営業利益:25億円以上

③事業リスク対応力の強化

⇒海外工事、開発事業、住宅関連

④事業規模に応じた組織体制の確立

⇒受注高2,500億円規模

⑤新規・成長分野への積極的取り組み

⇒環境、リニューアブル、原子力関連



基本方針の戦略①

基本方針① CSR活動の推進

- 新たに設置するCSR推進部署を中心とした積極的活動の推進
- コンプライアンス意識徹底のための継続的な研修の実施
- 顧客対応重視のためのお客様相談窓口の設置

基本方針② 収益力・受注力の強化

- 総合評価方式案件への取り組み体制の強化
- 全現場で保有技術を再検証し、コスト削減・技術提案へ展開
- 入手時審査の厳格化による低採算工事の排除
- 施工協力会の再整備によるVE提案・技術提案等での連携強化
- 川上段階から当社の技術を生かした開発案件への取り組みの強化
- 技術力の更なる向上を目指した人材育成制度（技術研修等）の確立



基本方針の戦略②

基本方針③ 事業リスク対応力の強化

- 海外工事におけるリスク管理体制の強化
- 出口を確保した新規開発案件への取り組みの強化
- 不良債権発生抑制策の実施

基本方針④ 事業規模に応じた組織体制の確立

- 管理部門組織の集約化・効率化
 - 本・支店組織再編による効率化並びに間接部門経費の削減
- 人員の見直し(早期退職優遇制度の導入)
 - 総数900名程度の人員削減
 - うち早期退職優遇制度による募集人数600名程度
(平成22年2月28日現在の従業員数3,575名、臨時従業員等含む)
 - 特別加算額等費用約60億円。年間人件費削減相当額約70億円



基本方針の戦略③

基本方針⑤ 新規・成長分野への積極的取り組み

- 組織改編・拡充による環境関連分野への取り組みの強化
- リニューアル分野への取り組みの強化
- 原子力分野(地層処分)への取り組みの継続



計画数値（単体）の見直し

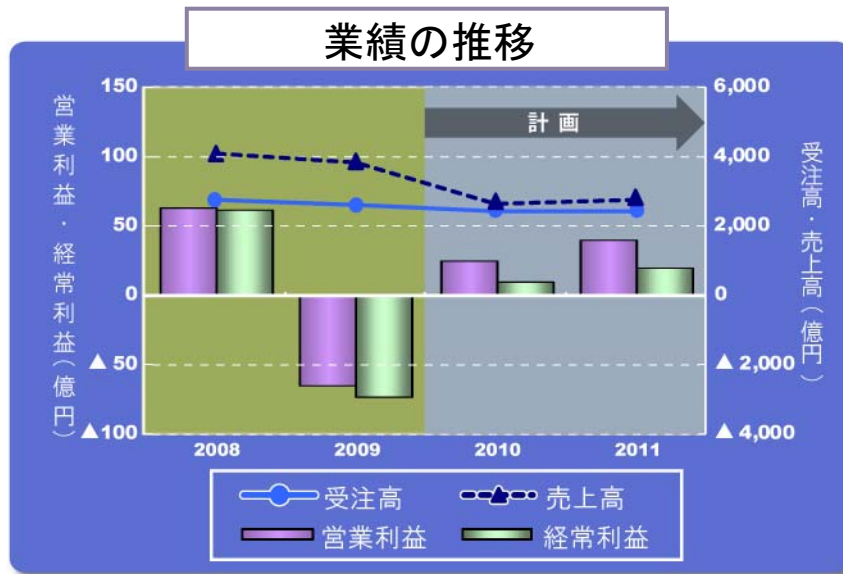
単位：億円

	受注高	売上高	一般管理費	営業利益	経常利益
2008年度（実績）	2,767	4,089	214	63	62
2009年度（見込み）	2,700	3,907	198	▲63	▲73
2010年度	2,460	2,680	135	25	10
2011年度	2,460	2,740	130	40	20

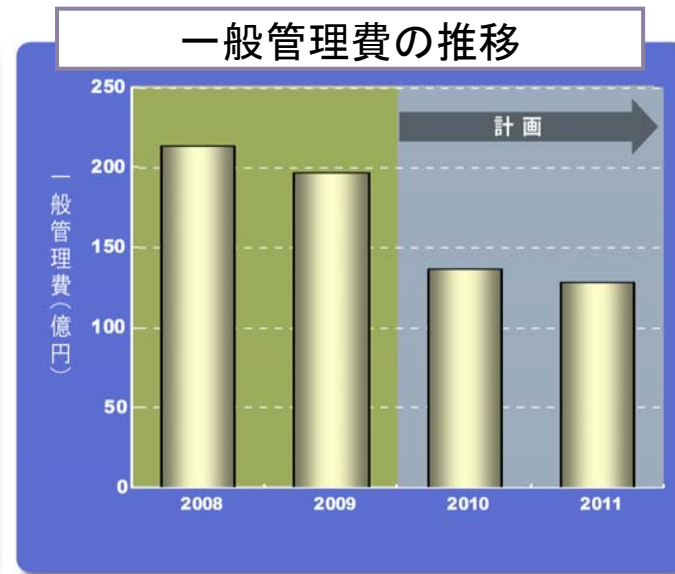
（注）2010年度、2011年度計画数値に
不動産の販売は含まず

戦略の遂行により実現を目指す計画数値

業績の推移



一般管理費の推移



●営業利益の回復！
●一般管理費の大幅削減！



おわりに

本資料に記載されております将来の計画、戦略、業績予想等に関しましては、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【お問合せ先】

西松建設株式会社 広報部

TEL : 03-3502-0232

FAX : 03-3580-2695

